

【TOCHINOKI NEWS】地域医療&国際支援の情報をお届けします！

とちノキネットワーク、地域医療&国際支援関連のニュースをお届けします



>>>> TOCHINOKI NEWS vol.3 <<<< 2016.7.28



※このメールはとちノキネットワーク会員にご登録いただいた方、とちノキセミナーへご参加いただいた方にお送りしています。

// I N D E X //

- ・第2回 とちノキセミナー&ナイトセミナー開催報告
- ・第2回 愛知国際病院国際医療支援室講演会へのお誘い
- ・第4回 佐久国際保健セミナーのお知らせ
- ・編集後記

■□ 第2回とちノキセミナー&ナイトセミナー 開催報告 ■□

2016年7月9日、代表世話人の森博威先生の呼びかけのもと、130名以上の方にお越しいただき、第2回とちノキセミナーが東京オリンピックセンターにて開催されました。

セミナー本番は午後1時から始まりました。出足はゆっくりでしたが次第に参加者も増え、会場も8割方埋まりました。前回同様、森先生によるオープニングで幕を開けました。今回のテーマは「家族で海外で働く、地域で働く」思い返せばチャレンジングなテーマでした。

このテーマを選んだ理由は、「国際保健のキャリア」を語る中で、少なからず「結婚や出産」がネガティブに語られるケースがあると感じていたためです。しかし、実際には家族がいるからこそ踏み出せる場合もあったり、家族との生活の中で得られる学びは国際保健の現場でも行かせることが少なくないのではないかと考えたからです。

しかし参加者の多くは学生も含めた若手(=結婚・出産未経験)です。そこに向かって家族の話をどう伝えればいいのか、演者も戸惑ったかもしれません。そんな中、第一演者の米田哲先生のプレゼンは、いつもながら期待に違わず圧巻でした。「家族で海外」の前に「結婚のススメ」。結婚生活には国際協力のエッセンスが詰まっている、といいます。結婚とは異文化理解であり、金銭と時

間のマネジメントだ。家庭内 NGO を立ち上げるのと同じで、最後は「覚悟だ」という先生のプレゼンは、ユーモアに溢れていました。引き継いだ奥様の恭子さんの話では、「結婚・出産・育児といったライフイベントと引き換えにできなくなることもある。ハードルに思えるかもしれないけど、今の自分にできることを。それは必ず将来還元されるし、無駄はない」という言葉が印象的でした。次いで登壇した寺川偉温先生の「ベトナムで医者として働く」と題しての講演は、現地の詳細な生活の様子や、家族で働くことで直面した様々な苦勞、緊急移送の話など幅広いものでした。「結婚していても、子どもがいても海外には行ける」という力強い言葉が耳に残りました。引き継いだ奥様の瑠奈先生には、女性ならではの「買い物」「生活のしやすさ」「住居の安全面」などについて具体的なエピソードを披露していただき、海外で家族で働くことで得られたメリットとデメリットをまとめていただきました。

その他、第2部、第3部の報告内容は、下記とちノきネットワークホームページよりご覧ください。

<http://tochinoki-net.com/activity.html>

■□ 第2回 愛知国際病院国際医療支援室講演会へのお誘い □■

愛知国際病院国際医療支援室では、毎年アジア保健研修所のオープンハウスに併せ、講演会を開催致しております。

国際医療に関心をお持ちの方でしたらどなたでも無料でご参加いただけます。ご来場をご希望の方は、下記の要領に従い申し込みをお願い申し上げます。

□テーマ「青年海外協力隊その後の30年」
～アジアや日本の地域とつながる中で見えてきたもの～

講演者 坂本真理子（愛知医科大学看護学部教授）
進行 宮崎 雅（愛知国際病院地域医療福祉連携部・部長）
司会 井手初穂（愛知国際病院小児科）
※講演終了後は、AHI オープンハウスにぜひご参加下さい。
会場は引き続きしゃべり場になります。ご自由にお過ごし下さい。

□開催日時 2016年10月10日（月・祝）
開場 10:30 開演 10:45 講演開始 10:55 講演終了 12:05
場所：愛知国際病院ホスピス研修室（愛知県日進市米野木町南山 987-31）

《出席されるみなさまへ》

参加をご希望の方は、k.ohta@aisen-kai.jp(担当:太田)へ氏名・所属をお知らせ下さい。その他のお問い合わせも承ります。

《アクセス》

当日は会場周辺に駐車できません。

オープンハウス特設駐車場:愛知県総合教育センター

(〒470-0151 愛知県愛知郡東郷町諸輪上鉾 68)と名鉄豊田線黒笹駅にシャトルバスが20分おきに運行いたしますのでこちらをご利用下さい。

タクシーの場合は、名鉄豊田線米野木駅をご利用下さい。

※黒笹駅にタクシーは常駐していません

■□ 第4回 佐久国際保健セミナー開催のお知らせ ■□

佐久総合病院国際保健委員会では、今年も国際保健セミナーを開催いたします。例年ご好評をいただいている本セミナーも、今年で4回目となりました。今回のテーマは「現代だからこそ求められる巡回診療」です。ブラジルでの巡回診療のケース、日本の佐久地域における巡回診療のケースをもとにワークショップを行い、これからの時代にあった医療の在り方を考えます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

□テーマ「現代だからこそ求められる巡回診療」

□開催日時 2016年10月29日(土)、30日(日)

場所:佐久医療センター(〒385-0051 長野県佐久市中込 3400 番地 28)

定員:30名

お問合せ:佐久総合病院国際保健委員会(E-mail: sghs@sakuhp.or.jp)

※参加申し込みは、近日開始予定です。参加費、宿泊場所など詳細につきましては近日中にお知らせいたします。(懇親会及び宿泊場所は、近くのホテルを予定しています。)

とちノキネットワークにお心当たりのない方、解除その他メールマガジンに関するお問合せは、北海道社会事業協会余市病院地域医療国際支援センターまでご連絡ください。E-mail : info@tochinoki-net.com

□■ 編集後記

先週 22 日に、スマートフォン向けのゲームアプリ「ポケモン GO」が日本でもリリースされ、ポケモン探しが地域活性の起爆剤になるかもと期待される一方、ポケスポット（アイテム出現場所）乱立の東京とは違い、なんと地方では不毛地帯。まったくポケモンが出現しないなんていう問題も・・(-_-;)。
珍しいモンスターを捕獲しようと熱中するあまり、交通事故や事件、山中に立ち入ってヒグマに遭遇するなど、全国各地でトラブルが相次いでいるようですが、このような現実世界と仮想世界を繋いだ位置情報ゲームが、これまでのゲームの概念を変えて、地域復興の切り札になり得るのか、ビジネスチャンスとなるか、今後の展開が楽しみな「ポケモンGO」。
くれぐれもトラブルに巻き込まれないように、ルールを守って楽しんでくださいね。(國府田)



【発行元】北海道社会事業協会 余市病院地域医療国際支援センター
(月 1 回)

□MAIL. info@tochinoki-net.com

□URL. <http://tochinoki-net.com/index.html>

□FB. <https://www.facebook.com/tochinoki.net/>

